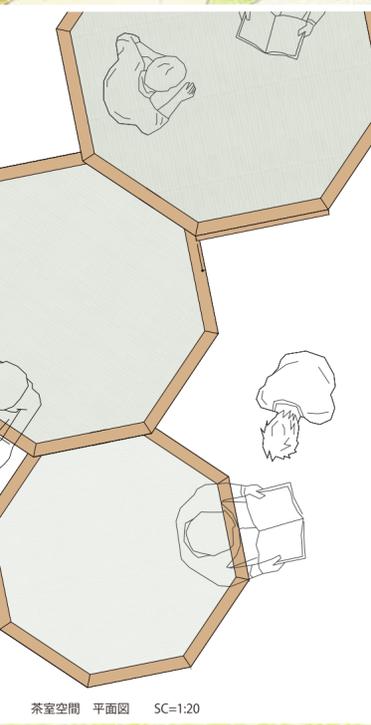




ひみつの茶室基地

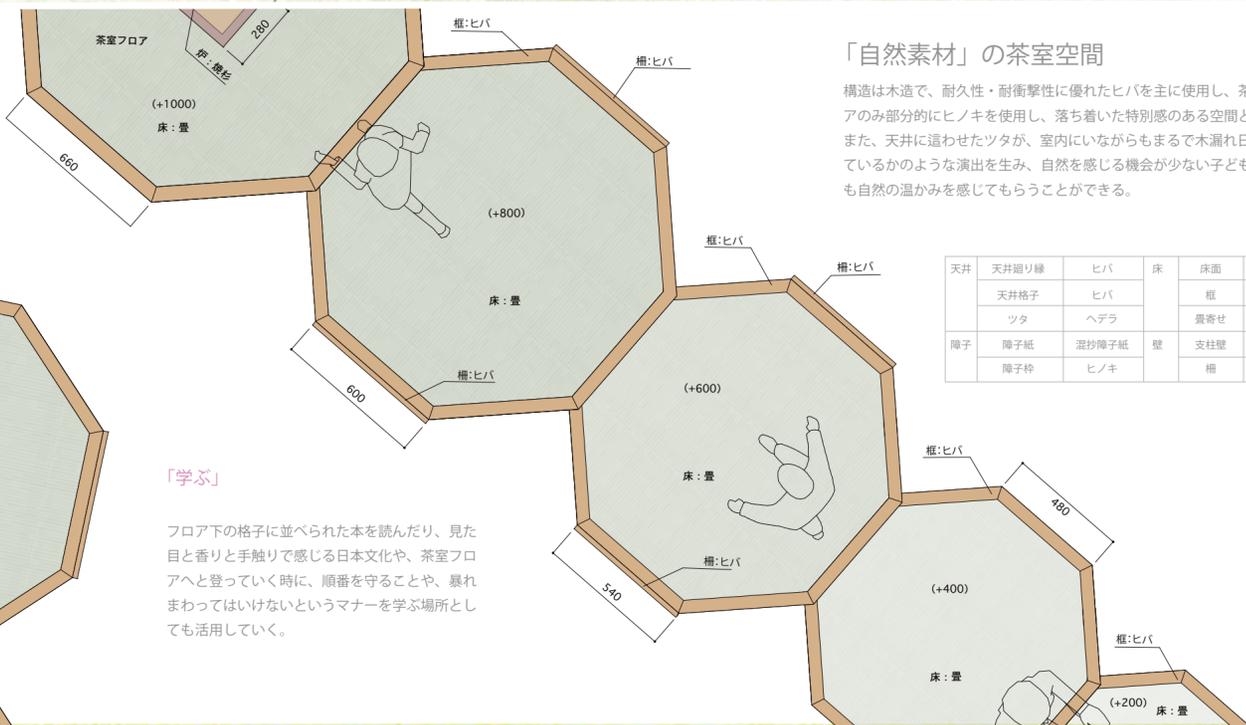


「遊ぶ」

茶室フロアへ登っていくという「運動」をし、そこに至るまでの4フロアのアプローチで子どもは自由に遊んだり座ったりできる。室内に設けられたフロアレベルの異なる空間が、子どもの自由な発想によって多様な用途で使える遊具になる。

「感じる」

茶室フロアまで辿り着けば、ジャングルジムで頂点に登りつめたような「達成感」を味わえたり、見た目も用途も異なる別空間(=茶室)へ入る「ワクワク感」も感じられる。また、茶室フロアは床・壁・天井が全て自然素材(い草・木・和紙・ツタ)で作られているので、日本の古き良き建築の伝統を子どもの視点なりにも感じることができる。



「自然素材」の茶室空間

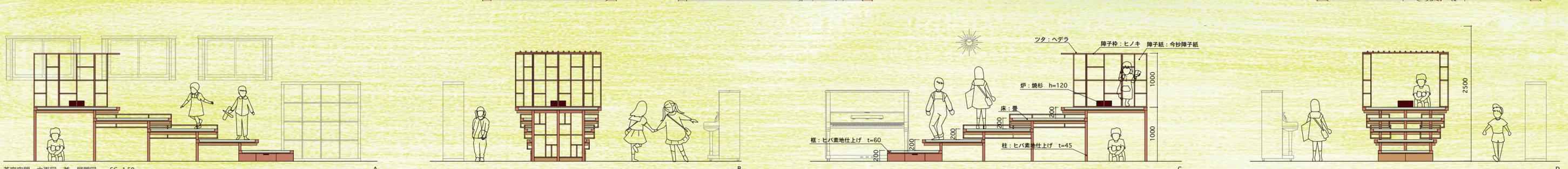
構造は木造で、耐久性・耐衝撃性に優れたヒバを主に使用し、茶室フロアのみ部分的にヒノキを使用し、落ち着いた特別感のある空間とする。また、天井に這わせたツタが、室内にいながらもまるで木漏れ日に当たっているかのような演出を生み、自然を感じる機会が少ない子どもたちにも自然の温かみを感じてもらえることができる。

| 天井 | 天井廻り縁 | ヒバ | 床 | 床面 | 畳仕上げ |
|----|-------|-------|---|-----|------|
| | 天井格子 | ヒバ | | 板 | ヒバ |
| | ツタ | ヘデラ | | 畳寄せ | ヒバ |
| 障子 | 障子紙 | 湿抄障子紙 | 壁 | 支柱壁 | ヒバ |
| | 障子枠 | ヒノキ | | 欄 | ヒバ |

「学ぶ」

フロア下の格子に並べられた本を読んだり、見た目と香りと手触りで感じる日本文化や、茶室フロアへと登っていく時に、順番を守ることや、暴れまわってはいけないというマナーを学ぶ場所としても活用していく。

茶室空間 平面図 SC=1:20



茶室空間 立面図 兼 展開図 SC=1:50